

寄贈図書リスト

見えてきた宇宙の神秘

野本陽代, A5判, 225p, 1,900円, 草思社, 読み物
スペース・ガイド 1999

(財)日本宇宙少年団, 新書判, 312p, 1,100円, 丸
善, 資料

西はりま天文台発 星空散歩

兵庫県立西はりま天文台, A5判, 208p, 1,600円,
神戸新聞総合出版センター, 解説書

理科年表 CD-ROM を楽しむ本

細矢治夫・寺門和夫, B6判, 95p, 1,200円, 丸善,

解説書

理科年表をおもしろくする本

宇野正宏・建島朔弥・福士顕士・山縣朋彦, B6判,
119p, 1,400円, 丸善, 読み物

2億年前ハワイから月が飛び出した

小林 功, 四六判, 178p, 1,300円, 京成社, 読み物
月の神秘

野本陽代, A5判, 162p, 1,700円, PHP研究所,
読み物

グロティウス星座図帳

千葉市立郷土博物館, A4判, 126p, 2,000円, 千
葉市立郷土博物館, 研究資料

月報だより

月報だよりの原稿は毎月20日締切、翌月に発行の
「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりま
すので、締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mailで gjimu@tenmon.or.jp 宛、なお、原稿も必ず
0422-31-5487迄 Faxでお送り下さい。

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下
さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など)
2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地
3. 専門分野
4. 職務内容・担当科目
5. (1) 着任時期, (2) 任期
6. 応募資格
7. 提出書類
8. 応募締切・受付期間
9. (1) 提出先, (2) 問合せ先
10. 応募上の注意
11. その他 (待遇など)

国立天文台教官公募

1. 教授 1名
2. (1) 理論天文学研究系
(2) 東京都三鷹市
3. 理論天文学
4. 全国の理論研究者との連携を保ちつつ、観測天文学
を視野に入れて、理論天文学を指導的に推進する教授
を求めます。
5. 平成11年4月1日以降なるべく早い時期
6. 大学院博士課程終了、又はそれと同等以上
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概
要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他

を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと)
および主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人につ
いて意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他
薦の場合は推薦書の他に、前記事項 (1) ~ (5) の概
要がわかる書類

8. 平成11年7月30日(金)必着

9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台長 小平桂一

(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台企画調整主幹 観山正見

TEL: 0422-34-3738 FAX: 0422-34-3746

E-mail: miyama@yso.mtk.nao.ac.jp

10. 封筒に「理論教授応募書類在中」と朱記し、郵送の
場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運
営協議委員会において行います。

1. 助教授 1名

2. (1) 光学赤外線天文学・観測システム研究系

(2) 東京都三鷹市 (将来ハワイもありうる)

3. 光学赤外線天文学

4. すばる望遠鏡を軸に大学共同利用機関の助教授とし
て観測的研究を推進する研究者を求めます。

5. 決定後なるべく早い時期

6. 大学院修士課程終了、又はそれと同等以上

7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概
要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他
を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと)
および主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人につ
いて意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他
薦の場合には推薦書の他に、前記事項 (1) ~ (5) の
概要がわかる書類

8. 平成11年7月30日(金)必着

9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台長 小平桂一

(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台光学赤外線天文学・観測システム研究系
主幹 家 正則
TEL: 0422-34-3520
E-mail: iye@optik.mtk.nao.ac.jp

10. 封筒の表に「光赤系助教授人事応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

1. 助教授 1名
2. (1) 太陽物理学研究系
(2) 東京都三鷹市
3. 太陽物理学・天体プラズマ物理学
4. 国立天文台の太陽研究分野（電波天文学研究系の太陽電波分野および太陽物理学研究系）は、Solar-B計画を中心として、近い将来太陽・天体プラズマ研究系としてより広い研究分野への展開を図る計画です。太陽を含む天体プラズマ現象の研究を広い視野を持って意欲的に進める研究者を求めます。応募者の研究分野は理論・観測を問いません。
5. 決定後できるだけ早い時期
6. 大学院修士課程終了、又はそれと同等以上
7. (1) 略歴書、(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要を含む）、(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著の主要論文には役割分担を記すこと）および主要論文別刷、(4) 研究計画書、(5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先、(6) 他薦の場合には推薦書の他に、前記事項(1)～(5)の概要がわかる書類
8. 平成11年7月30日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台長 小平桂一
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1
国立天文台太陽物理学研究系主幹 桜井 隆
TEL: 0422-34-3716
E-mail: sakurai@solar.mtk.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「太陽・天体プラズマ分野助教授応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

東京工業大学理学流動機構教官公募

1. 助教授 1名
2. 東京工業大学理工学研究科広域理学大講座（共通講座）
3. 広い意味での理学分野（理論・実験は問わない）ただし、地球惑星科学、情報科学、生物学は除く。
4. 広域理学大講座は大学院重点化に伴って平成10年4月に設置が認められた理学系専攻共通講座であり、この講座を中核として、理学系5専攻の下に「理学研究流動機構」が作られている。本機構は人的、学術的交流を通して理学系専攻のアクティビティを維持することがその主たる目的である。現在、本機構は国内・国外客員3ポスト、任期付き本務3ポストからなっており、本務教授ポストには中嶋悟氏（地球惑星科学分野）が着任している。今回公募する助教授（任期付き本務ポスト）は、この機構にあって関連専攻（数学専攻、基礎物理学専攻、物性物理学専攻、化学専攻のうちのいずれかの専攻）の教官、大学院生と協力しつつ（あるいは独立に）、最先端の理学研究を活発に展開することが求められている。
5. (1) 決定後なるべく早い時期 (2) 5年
7. ○履歴書、○業績リスト（査読誌、解説文、研究会報告毎に記載）、○主要論文別刷、○これまでの研究概要（2,000字程度）、○本学5年間における研究計画（2,000字程度）、○応募者に関する所見を伺うことのできる方（2名以上）の氏名及び連絡先
8. 1999年9月30日(木)必着
9. (1) 〒152-8551 目黒区大岡山2-12-1
東京工業大学理学部庶務掛気付 榎 敏明
(2) 数学分野：志賀徳造
TEL: 03-5734-2457 :
E-mail: shiga@ap.titech.ac.jp
素核宇宙物理学分野：細谷暁夫
TEL: 03-5734-2463 :
E-mail: ahosoya@th.phys.titech.ac.jp
物性物理学分野：斯波弘行
TEL: 03-5734-2387 :
E-mail: shiba@stat.phys.titech.ac.jp
化学分野：榎 敏明
TEL: 03-5734-2242 :
E-mail: tenoki@chem.titech.ac.jp
ホームページ
<http://www.titech.ac.jp/kyoukan-koubo-j.html>
10. 封筒に「広域理学大講座助教授応募書類」と朱書き簡易書留で送付して下さい。
11. 関連専攻の大学院担当教官として、大学院生を研究指導できる。なお、希望により、学部教育並びに学内運営などの義務は免除される。

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

日本大学 理工学部物理学教室助手

1. 第91巻8号
2. 岩本弘一（東京大学大学院理学系研究科天文学専攻）
3. 1999年4月1日

京都大学宇宙物理学教室

1. 第92巻1号
2. 釜谷秀幸（京大理学研究科物理学教室・学術振興会特別研究員）
3. 1999年6月1日

研究助成

第7回日産科学賞候補者推薦について

上記の推薦依頼が天文学会にきておりますのでお知らせ致します。

日産科学賞候補者推薦要領

1. 趣旨
若手・中堅の研究者で、特に顕著な業績にたいして表彰し、励ましと研究の発展を期待して支援をする。
2. 推薦基準
自然科学分野（人文・社会科学分野との複合領域を含む）で、下記により学術文化の向上発展に大きな貢献をした満50歳未満（平成12年3月時点）の公的研究機関に所属する研究者とします。
a) 学術研究上重要な発見をした
b) 新しい研究分野を開拓した
※45歳以下で上記基準に該当する方がおられる場合は、優先的にご配慮願います。
3. 推薦者：貴学協会の代表者
4. 推薦依頼数：1名
5. 賞の内容：正賞……賞状，メダル
副賞……研究奨励金500万円（受賞者の研究のための助成金）
6. 賞の贈呈：平成12年3月
7. 推薦手続：所定の用紙に必要事項を記入し、天文学会に提出して下さい。（用紙は天文学会に用意してあります）

8. 学会締切：平成11年7月30日（金）
9. 問い合わせ：日本天文学会事務局

地球化学研究協会学術賞「三宅賞」

1. 本賞は地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞牌および賞金（30万円）をそえます。
3. 本賞の贈呈は、1年1件（1名）とします。
4. 規定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由（400字程度）、主な論文10編程度に略歴をそえて、協会事務局までお送り下さい。

研究助成

1. 研究助成は地球化学の研究者で、海外における学術調査研究などに参加する者、ならびに海外のシンポジウム等に出席し論文を発表する者に対して行われます。
2. 助成金は1件10万円とし、年に数件とします。
3. 規定の用紙に推薦候補者（各締切日において満40才迄とする）の海外調査に関しては、略歴、研究業績、調査地（国名、地域名）、調査目的・計画、推薦理由、同行者などを記入し、海外のシンポジウム出席については、略歴、研究業績、国際会議名（主催団体、開催場所、開催年月日）、論文題目、推薦理由等を記入して、協会事務局までお送りください。

三宅賞の贈呈および研究助成者の発表は、1999年12月4日（土）、東京で行います。

申込締切日：三宅賞は、1999年8月31日

研究助成は、

第1回締切1999年8月31日

第2回締切2000年1月15日。

★申込用紙の必要な方は、天文学会事務局までお申し出下さい。

地球化学研究協会

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北4-29-2-217

電話 03-3330-2455（FAX 兼用）

2000年度「女性科学者に明るい未来をの会・猿橋賞」の受賞候補者及び研究助成候補者の推薦依頼

「女性科学者に明るい未来をの会」から標記の依頼が届いております。詳細は下記事務局までお問い合わせ下さい。

猿橋賞

1. 本賞は自然科学の分野で、顕著な研究業績を収めた女性科学者（ただし、下記の推薦締切日で50歳未満）に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞金（30万円）をそえます。
3. 本賞の贈呈は1年1件（1名）です。
4. 所定の用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由（400字程度）、略歴、主な業績文献リスト、主な論文別刷10編程度をそえて、下記事務所までお送りください。
5. 締切は1999年11月30日、下記事務所（必着）。
6. 第20回の賞贈呈式は、2000年5月、東京において行う予定です。

研究助成

1. 海外のシンポジウム等に出席し、論文を発表する女性研究者に対し、研究助成をいたします。
 2. 助成金は1件10万円とし、年に数件とします。
 3. 所定の用紙に推薦対象者（各締切日において満40歳未満）の略歴、研究業績、国際会議名（主催団体、開催場所、年月日）、発表論文題目、推薦理由等を記入して、下記事務所までお送りください。
 4. 締切は1999年11月末日と、2000年4月末日の2回。
- ★なお、最近3年間の猿橋賞受賞者は次の通りです。

第16回（1996年）

理化学研究所主任研究員 川合真紀博士
「固体表面における化学反応の基礎研究」

第17回（1997年）

名古屋大学生物分子応答研究センター助教授
高倍鉄子博士

「植物耐塩性の分子機構に関する研究」

第18回（1998年）

千葉大学大学院自然科学研究科教授 西川恵子博士
「超臨界流体の研究」

事務所：女性科学者に明るい未来をの会

〒166-0002 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217

Tel / Fax: 03-3330-2455

★提出用紙は日本天文学会事務室に用意してあります。

(財) 宇宙科学振興会

平成11年度宇宙科学研究助成候補者募集

(国際研究集会参加費用補助)

1. 助成対象：宇宙理学（地上観測を除く）及び宇宙工学（宇宙航空工学を含む）に関する独創的・先駆的な研究活動を行う若手研究者（昭和39年4月2日以降

生まれの者に限る）で、国際研究集会で論文発表が原則として確定している者。但し論文発表採択が未確定の場合でも申請できますが論文発表が条件となります。なお、大学・研究機関等所属長の承諾を得て応募して下さい。

2. 援助金額：1採択当たり約15～20万円
3. 申込受付時期：随時受け付けますが、次の締切りの間に合うようお願いします。（選考は年3～4回）
7月1日以降出発者については、5月15日
11月1日以降出発者については、9月15日
3月1日以降出発者については、1月15日
4. 採択件数：年間10～15件程度
5. 募集要項・申請書を下記までご請求の上お申し込み下さい。
6. 照会先：(財)宇宙科学振興会事務局
TEL 042-751-1126
〒229-8510 神奈川県相模原市由野台 3-1-1
文部省 宇宙科学研究所内

研究会・集会案内

宇宙地球環境国際シンポジウム PIECE-99

日時：平成11年9月27日～30日

場所：バルル山口（山口市）

主催：宇宙地球環境国際シンポジウム組織委員会

共催：文部省、山口大学創立50周年記念事業会、山口県産業開発機構、中国電力技術財団

協賛：日本天文学会、日本鉱物学会、日本地質学会、日本惑星学会、日本岩鉱学会、日本高压学会、日本学術会議 (IGCP)、LPI(USA)、Meteoritical Soc.(USA)、AGU(USA)、山口県、山口市、山口観光コンベンションセンター

講演要旨：6月15日（国内参加者）まで、A4版1枚 (Text file) 下記事務局までご送付ください。

論文原稿：9月20日（国内参加者）まで、A4版10枚程度 投稿規定 (MAPS,AGU) により下記事務局までご送付ください。

会議内容：

9月27日 惑星衝突、衝突と隕石衝突孔、隕石と有機物（歓迎会）

9月28日 地質境界の球粒、隕石衝突による球粒、世界の球粒（市民フォーラム予定）

9月29日 宇宙塵・惑星間塵、スペースデブリ、衝突による新物質

9月30日 巡検会議（送別会）

招待予定講演者（海外）

A. Cameron (Harvard), F. Hertz (NASA-JSC),

R. F. Grieve(Canada), D.McKay(NASA-JSC),
W.Alvarez(Berkeley), M.Rampino(NASA-Goddard),
M. Zolensky(NASA-JSC), El-Goresy(Germany),
C. Chapman (PSI,USA), B. Glass (Delaware,USA),
P. Shultz (USA),

(国内) 現在依頼しています。希望者も歓迎です。
印刷;米国の学会誌 (MAPS, AGU) に修正後掲載予定
です。

登録料: 2万円 (or\$200USD) — 論文要旨集, 歓迎会,
巡検会議, 県内送迎費用込み

事務局連絡先:

〒753-8512 山口市吉田 1677-1 山口大学理学部地球科学
教室内宇宙地球環境国際シンポジウム PIECE-99 事務局
三浦保範 宛

Tel / Fax 0839-33-5746 Fax only 0839-33-5768

E-mail: yasmiura@po.cc.yamaguchi-u.ac.jp

関連調査会議: 10.1-3 高松クレーター, 笹山 P/Tr 地質境界
(別途 3万円)

ホームページ:

<http://www.sci.yamaguchi-u.ac.jp/geo/PIECE1.html>

<http://cass.jsc.nasa.gov/meetings/calendar.html>

その他: 国内の講演者には, 多少の資金援助があります。
先生方の他学生や若手研究者の投稿もお願いし
ます。

三浦保範 (PIECE-99 会議開催責任者 委員兼幹事)

第 8 回公開セミナー「天文学の最前線」要項

高校生以上の一般の方々を対象とした天文学の講演会
で, 今年で 8 回目をむかえます。昨年末に動きだしたハ
ワイの「すばる」望遠鏡の結果をはじめ, 最先端の天文
学の研究成果を専門の先生方に分かりやすく解説してい
ただきます。恒例の実験実習や講師の先生方の座談会も
より一層充実させる予定です。

主 催: 名古屋大学理学部・名古屋市科学館

開催日時: 平成 11 年 8 月 16 日(月), 17 日(火), 18 日(水)
(3日間継続)

時 間: 10:00 ~ 17:30 (17 日は観望会のため
20:00 まで)

会 場: 名古屋市科学館サイエンスホール (8/18)
名古屋大学シンポジオン (8/16, 17)

対 象: 高校生以上

定 員: 300 名 (申込制)

受 講 料: 無料 (ただし資料代は実費)

申込方法: 「往復はがき」に住所, 氏名, 年齢, 職業,
電話番号を記入の上, 下記まで申し込む。

(多数の場合は抽選)

申込締切: 7 月 14 日(水) (必着)

申 込 先: 名古屋市科学館「公開セミナー」係

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 17 番 1 号

内容についての問い合わせ先:

名古屋大学理学部 A 研「公開セミナー」係

TEL 052-789-2839 または 2843 (担当) 水野 亮

東京大学木曾観測所及び名古屋大学太陽風観測所の特別公開について

期日: 1999 年 8 月 7 日(土)

△ 本年は 1 日のみの公開です。ご注意ください。

時間: 展示と解説 10 時 ~ 17 時

天体観望会 19 時 ~ 22 時

開催場所: 木曾観測所及び太陽風観測所

長野県木曾郡三岳村

内容: 1) 施設の公開と説明

2) 望遠鏡のデモンストレーション

3) 特別展示「木曾シュミット望遠鏡が捕えた星
の世界」

4) 研究活動の紹介

5) 天体観望会 (雨天中止)

6) ビデオの上映

7) 天体写真の展示及び販売

問い合わせ先:

木曾観測所 〒397-0101 長野県木曾郡三岳村 10762-30

TEL: 0264-52-3360 FAX: 0264-52-3361

木曾観測所ホームページ

http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kiso_obs/

太陽地球環境研究所 (STE 研)

〒442-0061 愛知県豊川市穂の原 3-13

TEL: 0533-89-5175 FAX: 0533-85-3882

太陽風観測所ホームページ

<http://stesun5.stelab.nagoya-u.ac.jp/>

第 17 回 NARO ユーザーズミーティング ～サーキュラー 1～

今年もまたユーザーズミーティングのご案内をお届け
することとなりました。野辺山では BEARS (25 マルチ
ビーム受信機)・Rainbow (45 m と NMA を結合した干
渉計) の本格運用の早期実現に向けての努力が進められ,
国内各機関の望遠鏡でもめざましい成果が上がりつつあ
ります。一方で, 日本が進めている LMSA とアメリカの

MMA, ヨーロッパのLSAを結合したひとつの国際大型干渉計の開発が推進されつつあるなど、私たちは激しい変化の波の中にいます。共同利用のあり方を議論するとともに、日本の電波天文学の現状を俯瞰し、その発展の方向を見定めることを目指して、NROユーザーズミーティングを下記のように開催します。奮ってご参加下さい。

日程：7月22日(木)午後～7月24日(土)午前
 22日夜は懇親会
 24日は長期共同利用プロポーザル公聴会

場所：国立天文台野辺山観測所
 内容：

- 1) 各種報告
 98年度共同利用(45m, 干渉計, VLBI)
 電波ヘリオグラフ
 各研究機関の動向
 出版・研究会
- 2) 99年度事業計画
- 3) Rainbow計画の報告と議論
- 4) LMSA計画について
- 5) 研究成果の報告
- 6) その他

内容に関してご意見、コメント等ありましたら世話人代表(砂田, e-mail: sunada@nro.nao.ac.jp)までお願いします。サーキュラー2でより詳しい日程、内容をお届けします。また、研究成果報告の募集も行います。

世話人：砂田和良, 岡 朋治, 中西康一郎

会務案内

内地留学奨学金の希望者を募集します

内地留学奨学金は、主に、学校等の教員、科学館・プラネタリウム・公共天文台の学芸員等やアマチュア天文家の人が、日本国内の大学や天文台などの研究機関で、天文学またはそれに関連する分野の研究に従事することを支援するための制度です。短期間、奨学金を受けながら、研究機関を利用し、そこの教官に指導してもらうこ

とができます。なお、内地留学への応募がしやすくなるよう内規を改訂中です。

例えば、これまでの奨学金受給者の研究テーマには次のようなものがありました。

- ・市街地における光害の実態と調査
- ・変光星の観測的研究
- ・天体写真のカラー処理とその効果
- ・天文教材開発のための調査研究
- ・19世紀の流星雨に関する文献の調査研究
- ・彗星の分光観測
- ・木星の赤外狭帯域撮像
- ・市販 CCD カメラの性能評価

また、受け入れ研究機関は国立天文台、大阪教育大学、京都大学などでした。研究したいが、どこの誰に指導してもらおうのが良いか分からないという希望者は、内地留学奨学金選考委員長がご相談に乗りますので、お気軽にお問い合わせください。

募集要項は次の通りです。応募用紙は日本天文学会事務室にあります(郵送可)。新人のために、申請書の書き方の例も用意しています。

応募資格：日本天文学会会員であること。

留学期間：2000年1月から約1年のうちの希望期間。
 希望者と受け入れ研究機関と教官との相談で、学校教員なら夏休みの時期など、民間企業勤務の人なら何度か短期の休暇をとるなどで、指導を受ける期間を設けることが考えられます。

申し込み：応募申請書に必要事項を記入し、受け入れ教官の印をもらった上、「〒181-8588 三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 日本天文学会理事長」宛に申し込んでください。

応募締切：1999年9月25日(土)必着

審査：当学会選考委員会(内規第5条)で審査の上決定し、10月下旬本人に通知します。

支給額：25万円以下で、支給予定は2000年1月とします。

連絡先：兵庫県立西はりま天文台

内地留学奨学金選考委員長 黒田武彦

電話：0790-82-3886

FAX: 0790-82-3514

電子メール: kuroda@nhao.go.jp

編集委員	上野宗孝(編集長), 大橋正健, 小野智子, 斎藤芳隆, 田村元秀, 土橋一仁, 内藤統也, 和田桂一
平成11年6月20日	発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
印刷発行	印刷所 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12 啓文堂 松本印刷
定価700円(本体667円)	発行人 〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台内 社団法人 日本天文学会
TEL: 0422-31-1359(事務室) / 0422-31-5488(月報・欧文編集)	FAX: 0422-31-5487 振替口座 00160-1-13595
日本天文学会のホームページ http://www.tenmon.or.jp	月報編集 e-mail: gpojmu@tenmon.or.jp